



# 香南市 パートナーシップ 宣誓制度

2023年3月1日から運用が始まった「香南市パートナーシップ宣誓制度」は、一方または双方が性的マイノリティである二人が、互いを人生のパートナーとし、日常生活において協力し合う関係であると宣誓したことを市が証明する制度です。

この制度に法的効力はありませんが、その関係を行政が認知することによって、性的マイノリティに関する社会的理解を促進するとともに、性的マイノリティの方が安心感を持って生活できる社会が実現することを期待しています。

\* (c)渋谷区・NPO法人虹色ダイバーシティ2023より引用

全国 **328** の自治体が 制度を導入\*  
(2023年6月28日現在)

高知県では **7** 市町が導入  
(2024年1月1日現在)

香南市では **2** 組の方が 宣誓



▲その名の通り、竹刀を頭上に振り上げた状態の上段の構え

## 憧れ続けた「上段の構え」で 県大会を制覇。全国大会へ

高知高校の2年生で剣道部に所属している濱田さんは、昨年11月に行われた県高校秋季新人大会で個人・団体ともに優勝。この大会は3/26~28に愛知県で行われる全国高校選抜大会の予選も兼ねており、団体での出場が決定。また、4/29に大阪府で行われる全日本都道府県対抗剣道優勝大会へ県の高校生代表として出場が決定しています。

実は、秋季大会での成績が個人初の優勝だったという濱田さん。中学生までの間は、楽しいはずの剣道が嫌になることもあったといいます。

その転機は「上段の構え」。小学2年生から父の影響で始めた剣道でしたが、ずっとやりたかった上段の構えは危険度が高いなどの理由から、中学生以下には禁止されていました。高校生になってやっと上段での剣道が解禁。「今は楽しくて仕方ない。片手の面が決まった時は最高に気持ちいい!」と笑顔で話してくれました。上段は攻めの剣道、とも言われるそうで、濱田さんの剣道はまさにアグレッシブで取材時の朗らかな様子とは一変。振り下ろすという豪快さと素早さを兼ね備え、一気に先手を打つ攻めのスタイルです。



## 家族や仲間の支えとともに

濱田さんは、赤岡町の自宅から自転車通勤。平日は朝練があるため、毎朝4時半に家をでるそう。一緒に過ごす家族は大変なのでは、と思うも母ひとみさんは「慣れました」とあっさり。「大変だけど楽しんでます。でも私が色々なくても心也は凝り性だから、竹刀も自分でカスタマイズするし、袴のアイロンがけもする。ほんとアイロン王子なんです」と仲良く二人で笑い合う様子を見せてくれました。

今後の目標を濱田さんに聞くと「これからの大会でも結果を残してインターハイに出場したい。まずはそこが一步」と力強い一言。昨年冬の取材時には「記事になるから、こりゃ負けねえ」と笑って宣言。その言葉通り、1月に行われた冬季大会でも見事優勝を勝ち取りました。これからの活躍も応援しています!



▲添えた右手を離し素早く振る上段ならではの片手の面

▼親子ツーショットのお願いにも笑顔で応えてくれました



## いろいろな “ふうふ” のかたち

入場 無料

パートナーシップ宣誓制度利用者の暮らし

制度の運用1周年を記念して、講演会を開催します。2018年に大阪市パートナーシップ宣誓証明制度利用第1号のお二人を招き、同性カップルの想いなどをお話いただきます。



**講師** 特定非営利活動法人 カラフルブランケッツ  
 理事長 井上 ひとみさん 副理事長 瓜本 淳子さん

大阪府在住。お互いが31歳の時に出会い、4年間の交際を経て2015年関西レインボーフェスタで結婚式を挙げ、公にカミングアウト。身近にいることを知ると偏見を持っていた人も変わってくれるという実体験から、LGBTQ+の人が身近に当たり前になることを知ってもらうための活動を始めました。井上さん(写真右)は獣医師、瓜本さん(写真左)は動物看護師をされています。

同時開催

3/29 金 私たちだって“いいふうふ”  
 4/2 火 になりたい展 in 香南2024

場所: のいちふれあいセンター エントランス